

身近な植物を使って染める

庭に植えた樹木や河原で見つけた草花、あれもこれも染色の材料になることを知っていますか？ 毎回、日々の生活の中で見かけることも多い身近な植物を材料にして糸を染め、その糸を織るおなじみの講座。今年は「ヨモギ」「栗の落ち葉」「ピワ」「クチナシの実」を予定。あの植物からこんな色が！ なんて、意外な発見がいっぱいですよ。



日程：《染色》平成25年11月13日(水)～12月4日(水) 毎週水曜日 全4回
《手織》平成26年1月8日(水)～2月12日(水) 毎週水曜日 全6回 } 全10回

時間：10:00～16:00

場所：伊丹市立工芸センター B2F セミナー室

定員：20名(先着順)

受講料：30,000円(会員24,000円)

染色のみ参加の場合は12,000円(会員9,600円)

材料費：染色材料代500円 その他糸代別途必要



講師 やまこし かずよ 氏 染織作家

大分県立芸術短期大学卒業・大阪デザイナー専門学校卒業・西表島で染織の勉強
岐阜あかりのオブジェ展(審査員特別賞)・2006伊丹国際クラフト展(大賞)
陶・ガラス・織3人展(京都)・Three Hands展(大阪)・竹やぶの展覧会(京都)

内容

- ① ヨモギ
- ② ピワ
- ③ 栗の落ち葉
- ④ クチナシの実
- ⑤～⑩ 手織 前半4回で染めた糸を使用して、ストールや敷物などの小物、細帯(半巾の帯)などを織ってみましょう。



持ち物

エプロン・筆記用具・ビニール手袋(必要な方)・持ち帰り用ナイロン袋
空のペットボトル(500ml以下の物)2個・滑りにくい靴・染める糸

☆手織初心者の方はこちらで用意します。(絹糸。1回1,000円～3,000円)申し込み時にお知らせ下さい。
☆経験者は各自糸をご用意下さい。ウールは不可。
木綿を染められる方は、各自で精練・豆汁処理等を済ませておいて下さい。
☆糸量は、おひとり1日につき160gまで。媒染により1つの素材で2色に染め分けられますので、両方試したい方は、2かせに分けておいて下さい。

糸について

お申し込み・お問い合わせは **伊丹市立工芸センター**へ 月曜日休館(祝日の場合翌日)
〒664-0895 伊丹市宮ノ前2-5-28 tel: 072-772-5557 fax: 072-772-5558
9月15日(日) 10:00 受付開始
9月15日(日)は電話・来館でのお申し込みのみ 16日(月・祝)以降はFAXでも受付いたします